日本キリスト教団東金教会〔３０〕

2019年7月21日聖霊降臨節第７主日礼拝

年度目標　《キリストに根を下ろして生きる》

聖　句　キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って…　コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	藤田
奏楽	中村
受付	津久井
案内	武田
名札係	井上
礼拝感謝祈祷	梅田
〃　〃	土屋
前奏	中村
讃美歌 7	一同
使徒信条 566	〃
交読文 27	司・会衆
主の祈り 564	一同
聖書 ルカ福音書	司会者
7章11節～17節	
祈祷	藤田
新聖歌 330	一同
み言葉の伝え	朴
〈回復〉	
讃美歌 330	一同
献金	
礼拝感謝	梅田
〃　〃	土屋
報告	藤田
頌栄 541	一同
祝祷(派遣)	朴
後奏 新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会７月２４日(水)休会
早天祈祷会月～金7:00(土/日/祭除く)
交わり会本日礼拝後
婦人会・信交会及び青年会　交わり会後
聖書輪読会7月２８日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会7月２８日(日)10:25-10:30

【報告】

☆去る７月１５日もたれました「東総分区信徒と教会の交わり」は東総分区所属教会・伝道所５，他分区１，合計６教会・伝道所集会人数３５名で実り豊かな学びと交わりの会でした。
☆本日の交わり会では中村　　姉妹よりスイスでのお話等をうかがいます。ご承知のとおり姉妹の御夫君　　兄が国連のスイス機関でお働きであり、そちらでのお話もうかがえると思います。急遽決まったことですが、ぜひみなさまご出席下さい。
☆今年の教会学校１泊夏季学校は７月２３～２４日長柄町千葉市少年自然の家」で、１日夏期学校は７月２６日(金)教会で持たれます。ご加祷下さい。
☆７月２４日の祈祷会は教会学校１泊夏季学校により、また８月７・１４・２１日の祈祷会は牧師の夏期休暇により休会とさせていただきます。
☆８月１８日は牧師誕生会の予定です。お覚え下さい。
☆８月の「み言葉の伝え」担当は１８日が中村牧師２５日が朴牧師となります。
☆夏期感謝献金お覚え下さい。

【7月２１日～7月27日誕生者】

○小原　姉　○土肥　姉　○中村　姉
○佐藤　兄　○福見　姉　○松戸　姉
※おめでとうございます。互いに主に繋がる枝々として祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(7/14)	13	28	41
聖研祈祷会(7/17)	3	3	6
聖書輪読会(7/14)	1	2	3
教会学校(7/14)	5	15	20

早天祈祷会			
日	男	女	計
7/15	1	1	2
7/16	1	1	2
7/17	1	1	2
7/18	1	1	2
7/19	1	1	2

主日礼拝献金(７/14)……３１,３８１円
教会学校献金(７/14)……６,４２０円

【今日のメッセージ】

題　[回復]
聖　書　ルカ福音書７章１１節～１７節
1.主はこの母親を見て、憐れに思い
2.主は息子を母親に返した
3.神はその民を心にかけてくださった

【次週(７月２８日)礼拝案内】

題　〈異なれる福音〉
聖　書　ガラテア書１：６～１０
交読文　２８
讃美歌　２４番　５１２番
新聖歌　１０３番

【次週(７月２８日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	… 中	村本
司式者	… 藤	
奏楽者	… 中	
受付者	… 阿波	村谷
案内者	… 寺	内屋
名札当番	… 土	
礼拝感謝祈祷	… 薬師	寺立
〃　〃	… 足	
csお話し	… 岡	部田
会堂清掃者	… 武	
〃　〃	…	
花係	… 小	林本
看板書き	… 澤	

【聖書から】

わたしたちの父である神と、主イエス・キリストの恵みと平和が、あなたがたにあるように。

ガラテアの信徒への手紙一章三節

パウロはガラテアの諸教会に手紙を送るに際し、彼らが信じ、より頼む御方がどのような御方であるか、改めて彼らの心に語りかける。パウロは先ず云う。「わたしたちの父である神」と。彼らが、そして私達が信じている神、それは私達に父として出会いたもう神なのだ、と。遠くの神ではない、そうではなく私達の父として、肉親として出会い、私たちを心配し、配慮し、私達を導きたまい、究極においてご自身の家に住まわせたもう父としての神である。その父のお支えを受けて私達はこの地上を生きるのである。次に、「主イエス・キリスト」とある。主イエスは私達にとって長兄である。父はこの長兄に私達のリーダーとなることを命じられる。具体的には、私達は長兄たる主イエスの導きの中を歩む。私達が迷う時、導きを期待する時、あるいは様々の困難と対峙する時、私達は主イエスを通して父なる神の示す方向へと歩みを進める。むかしイスラエルの民が主の僕モーセに率いられて火の柱雲の柱の指し示す道に従い約束の地に向ったように、私達は主イエスに従いそのご命令の中で神の国を目指す民なのである。

そして最後に、このような旅する私達に対する神さまからの祝福が語られる。神の御国を目指しての旅は躓きに満ちた旅である。己の弱さ、不甲斐無さに泣き、対立者の攻撃に怯え、あてどのない不安に迷う旅である。このような旅をそれでも尚希望をもって旅することのできるのは、私たちを導きたもう神からの「恵みと平和」が私達に注がれる故である。そしてこの恵みと平和は神の所有したもう恵みと平和であり、この世がもたらす恵みと平和とは全く異なる神の恵み、神の平和であり、私達が神への信頼を持つ時に神から注がれる。これを戴きながら私達は約束の地を目指し歩むのである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。